

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスLove&Smileりやん				公表日	令和8年 2月 2日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	普段は高学年と低学年で建物を分けて過ごしていますが、行事の際には一緒に活動をしています。				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	少ないとも考えられますが、1人1人の職員の質を高められるようにしていきたいと考えています。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	全面バリアフリー化はしていませんが、必要に応じて簡易的なスロープを設置するなどの配慮を行っています。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	療育後の夕方に毎日欠かさず掃除を行っています。また、その時々の状況に合わせて環境を整備するよう心がけています。				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	気分が優れない時や情緒の安定を図りたい時には和室を開放し個別で過ごすことが出来るようしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		職員同士で呼びかけ全員で参加するようにしています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	毎年、保護者向けの評価表を提出してもらい、要望があれば改善しています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	意見や連絡事項は朝会で出し合う他、随時気になることがあれば管理者に伝えてもらっています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	現在第三者による外部評価は行っておりません。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	強度行動障害の研修や各員会が開催する研修を日頃から行っています。				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページにて公表しています。				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		6か月内に一度面談とアセスメントを行い、分析した内容をもとに作成しています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		モニタリング、個別指導計画の会議では全職員が参加し意見を出し合うようにしています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		総合的な支援方針、5領域ごとの活動を共有し、台本をもとに専門活動、小集団活動を行っています。				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		保護者、職員でアセスメントシートを記載しco-miというソフトに入力し、AIによる診断で分析した結果を共有しています。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	お子さまの学校、ご家庭、事業所でのそれぞれの実態に基づいて、その時々に必要な支援内容を設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		毎日療育の前に打ち合わせを行い、お子さま1人1人の様子に応じて必要な配慮事項などを確認しています。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		月ごとに行う活動を話し合い、お子様の取り組みの様子を参考にしながら次回の活動に変化を加えながら立案しています。				

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		1人1人に定めた目標に応じて個別、集団での活動を設定し支援を行っています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		前日のお子さまの様子や変化を日頃から職員間で話し合うことができています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		翌日の午前中に行っています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	3	毎日、支援記録をとっていますが、支援記録が追いついていないことがあった為、ルーティーン化して必ず取るようにしていきたいと思います。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		6か月ごとにモニタリングを行い、計画を更新しております。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		できるだけ基本活動が組みあわされるように行っています。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		日頃から子ども達の意思を確認し、選択肢を与え自己決定ができるよう支援を行っています。
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		管理者、児童発達支援管理責任者、担当保育士または児童指導員が参加しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	主に学校、相談支援事業所、他事業所との連携を行っています。今後は地域の保健、支援センター等とも連携を行っていきたいと思います。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		送迎時または電話にて連絡を取り合っています。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	系列事業所の児童発達支援から放課後等デイサービスに上がってくる子どもに関しては共有を行っています。今後新規で利用される子ども達の保育所、幼稚園、認定こども園へ訪問し見学や情報共有も積極的に行っていきたいと思います。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	まだ前例はありませんが、現在利用しているお子さまが対象となった際には積極的に情報提供を行いたいと思います。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	直接のやりとりはまだ少ないですが、今後必要に応じて設けていきたいと思います。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8	1	公園に出かけた際には近隣にお住まいの子ども達と遊んだり挨拶をしたりする等の交流をしています。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	今後機会があれば参加したいと思います。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	日頃から直接または連絡ノートやLINEにて共有しています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	両親が仕事をしているご家庭が多いため実現することが出来ていません。情報提供は今後行いたいと思います。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	利用開始の契約時に説明を行っています。
機 構 の 運 営	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		管理者または児童発達支援管理者が双方に話を聞き意見を取り入れて作成しています。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		個別指導計画作成時に説明を行っています。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		随時受け付けており、面談やお話を聞く場を設けています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	7	現在取り組むことが出来ていませんが、今後要望がございましたら検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	職員間で共有し改善策を検討するなど早急に対応するよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	ホームページとLINEにて定期的に発信しています。活動中の動画や写真をもう少し効率よく送ることが出来るよう努めています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		情報漏洩にならないよう努めています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		必要に応じて配慮を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	事業所に招いたことはありませんが、ハロウィンでは近隣の施設を訪問し交流しています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		毎年各マニュアルを策定し、職員研修で訓練を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		業務継続計画（BCP）は毎年策定しており、災害や様々な緊急事態に備え避難訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		利用開始時に保護者と確認を行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		定期受診の結果を保護者に知らせてもらい、対応できるよう努めています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		毎年策定し、研修や訓練の他に予備バッテリーや備蓄品の確認を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		緊急時の対応について十分に周知するよう努めています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットが起った際にはすぐに共有し再発防止策の具体例も挙げています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止研修を実施し職員の理解を深めたり、日頃から職員のメンタルフォローを行い、防止出来るよう努めています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		身体拘束についての研修を実施し職員の理解を深めるよう努めています。また利用開始時に保護者に説明を行いました。